



健康長寿の福井

平成28年11月16日

電源地域振興課

担当者：吉川、中川

電話：0776-20-0230

代表(内線)：0776-21-1111 (内線2320)

メール：dengen@pref.fukui.lg.jp

アジア原子力協力フォーラム (FNCA) 「放射線育種プロジェクト」ワークショップが開催されます

福井県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」では、国内外の原子力人材の交流促進を図るため、国際会議の誘致活動を進めています。

このたび、文部科学省主催のみだしのワークショップが、下記のとおり、12月12日(月)から4日間にわたり、若狭湾エネルギー研究センターにおいて開催されることになりましたので、お知らせします。

なお、本ワークショップの一環として、「持続可能な農業のための放射線技術・放射線育種の応用に関する公開セミナー」が12月14日(水)13時30分から開催され、参加者を募集しています。

記

- 日程 平成28年12月12日(月)～15日(木)
- 場所 福井県若狭湾エネルギー研究センター
- 主催 文部科学省
- 後援 福井県、(公財)若狭湾エネルギー研究センター
- 実 施 容 器 (公財)原子力安全研究協会
- 内 容 別紙のとおり
- 参 加 者 22名
(アジア8か国および1国際機関：11名、国内：11名)
- 取材案内 ※公開セミナーは除く
取材は12月12日(月)の開会セッション(9:30～10:50)および14日(水)の公開セミナー(13:30～16:20)の時間内にお願ひします。

添付ファイル1



【添付①】FNCAワークショッププログラム.pdf

添付ファイル2



【添付②】公開セミナー案内.pdf

添付ファイル3



【添付③】FNCAワークショップ参加者名簿.pdf

添付ファイル4



【添付④】(参考)FNCAの概要.pdf

アジア原子力協力フォーラム（FNCA）
「放射線育種プロジェクト」ワークショップ プログラム

12月12日（月）

【会場：福井県若狭湾エネルギー研究センター 第1・2会議室】

開会セッション（9：30～10：50）

- ・開会挨拶 文部科学省研究開発局核不拡散科学技術推進室
旭 信昭（公財）若狭湾エネルギー研究センター理事長
和田 智明 FNCA日本コーディネーター
- ・概要説明 「2015～2016年のFNCA活動の概要と進捗状況」
和田 智明 FNCA日本コーディネーター
「FNCA放射線育種プロジェクトの概要とワークショップの目的」
中井 弘和 FNCA放射線育種プロジェクトリーダー
- ・参加者紹介等

セッション1：カンントリーレポート

12月13日（火）

- セッション2：ソルガム・ダイズ、バナナに関するサブプロジェクトのフォローアップ
- セッション3：IAEA/RCA（国際原子力機関/原子力科学技術に関する研究、開発および訓練のための地域協力協定）との連携
- セッション4：持続可能な農業のためのイネの放射線育種プロジェクトの戦略的計画
- セッション5：2018年からの新フェーズのための円卓会議

12月14日（水）

- セッション6：会議録まとめ
- 閉会セッション

【会場：福井県若狭湾エネルギー研究センター ホール】

公開セミナー（13：30～16：20）

- 「持続可能な農業のための放射線技術・放射線育種応用」
※内容は別添参照

12月15日（木）

- 施設見学：若狭湾エネルギー研究センター
郵船商事（株）敦賀植物工場
合同会社ながの農園

文部科学省主催
「持続可能な農業のための放射線技術・放射線育種の応用に関する公開セミナー」
開催のご案内

文部科学省ではアジア原子力協力フォーラム（FNCA）において放射線育種の活動を実施しております。この活動の一環として、この度、公開セミナーを下記の要領で開催することといたしました。放射線育種による地域農業への貢献の可能性、日本やアジア地域での成功事例等について理解を深めて頂ける機会です。多数の方々のご参加をお待ちしております。

- 主 催 : 文部科学省
- 後 援 : 福井県、公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター
- 開催日時 : 平成 28 年 12 月 14 日(水) 13:30~16:20
- 開催場所 : 福井県若狭湾エネルギー研究センター 1階 ホール
- 言 語 : 日本語（英語での講演は同時通訳あり）
- 議 長 : 田中 淳 量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 研究企画室長
- プログラム : 開会挨拶 : 文部科学省 研究開発局 核不拡散科学技術推進室
旭 信昭（公財）若狭湾エネルギー研究センター 理事長
- 講演 :
- 1) FNCAの活動と持続可能な開発のための効果的な放射線技術の応用
発表者: 文部科学省 研究開発局 核不拡散科学技術推進室
 - 2) イオンビームによる放射線育種技術の開発と農業への貢献
発表者: 阿部 知子 理化学研究所 仁科加速器研究センター
応用研究開発室長（生物照射チームリーダー）
 - 3) 持続可能な農業のための放射線育種とその応用
発表者: 中井 弘和 FNCA放射線育種プロジェクトリーダー
静岡大学名誉教授、元副学長
 - 4) 日本での放射線育種の成功例とその応用の世界的トレンド
発表者: 加藤 浩 農業・食品産業技術総合研究機構
次世代作物開発研究センター放射線育種場 場長
 - 5) マレーシアにおける放射線育種の成功例
発表者: Dr. Sobri Bin HUSSEIN マレーシア原子力庁 上級研究員
 - 6) ベトナムにおける放射線育種の成功例
発表者: Prof. Dr. LE Huy Ham 農業遺伝学研究所 所長
- 閉会挨拶 : 中井 弘和 FNCA放射線育種プロジェクトリーダー

* プログラムの一部を変更することもあります

会場へのアクセス

福井県若狭湾エネルギー研究センター 1階 ホール
〒914-0135 福井県敦賀市長谷6-4-52-1 ※裏面地図参照

お申込み方法

どなたでもご自由にご参加頂けます。
お名前、ご所属を記載の上、電子メールまたはFAXでお申し込みください。

お申込み、お問合せ先

(公財)原子力安全研究協会 国際研究部 担当:小池 亜紀
〒105-0004 東京都港区新橋5-18-7 TEL:03-5470-1983 FAX:03-5470-1991
電子メール: koike@nsra.or.jp

会場へのアクセス (地図)



◇ ご案内 ◇

【電車の場合】 JR敦賀駅からタクシーで約20分

【お車の場合】 敦賀ICから約20分

FNCA「放射線育種プロジェクト」ワークショップ 参加者

【海外参加者】

- バングラデシュ
 - ・バングラデシュ原子力委員会 主任科学研究员
A N K・マムン (Dr. A N K MAMUN)
- 中国
 - ・浙江大学 作物科学研究所 教授、副所長
シュー・キンヤオ (Dr. SHU Qingyao)
- インドネシア
 - ・インドネシア原子力庁 アイソトープ・放射線技術応用センター 農業部 上級研究員
ソブリザル (Dr. Sobrizal)
- マレーシア
 - ・マレーシア原子力庁 上級研究員
ソブリ・ビン・フセイン (Dr. Sobri Bin HUSSEIN)
- モンゴル
 - ・植物農業科学研究所 研究員 (突然変異育種家)
ドルゴール・ツォグナムジル (Ms. Dolgor TSOGNAMJIL)
- フィリピン
 - ・フィリピン原子力研究所 上級科学研究所専門員
アナ・マリア・S・ベルス (Ms. Ana Maria S. VELUZ)
- タイ
 - ・タイ米作局 稲研究開発課 上席専門職級 農業研究員
カンチャナ・クラカエン (Dr. Kanchana KLAKHAENG)
 - ・タイ米作局 プラチンブリ稲研究センター 研究員
ウドンパン・プロムナート (Ms. Udompan Promnart)
 - ・タイ米作局 ノンカイ稲研究センター 農業科学研究所研究員
ソムジャイ・サレート (Mr. Somjai Saleeto)
- ベトナム
 - ・農業遺伝学研究所 所長
レ・フイ・ハム (Prof. Dr. LE Huy Ham)
- IAEA
 - ・IAEA/RCAプロジェクトRAS5077リードカントリーコーディネーター
中国農業科学院 作物科学研究所副所長、宇宙育種センター長
リウ・ルシャン (Prof. LIU Luxiang)

【国内参加者】

- FNCA関係者
 - ・FNCA日本コーディネーター 和田 智明
(科学技術広報財団 理事)
 - ・FNCA日本アドバイザー 南波 秀樹
(放射線利用振興協会 技術アドバイザー)
 - ・FNCA放射線育種プロジェクトリーダー 中井 弘和
(静岡大学 名誉教授、元副学長)
 - ・FNCA放射線育種運営グループ委員 加藤 浩
(農業・食品産業技術総合研究機構 次世代作物開発研究センター 放射線育種場 場長)
 - ・FNCA放射線育種運営グループ委員 田中 淳
(量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 研究企画室長)
- その他
 - ・文部科学省、福井県、(公財)若狭湾エネルギー研究センターほか

アジア原子力協力フォーラム

(FNCA : Forum for Nuclear Cooperation in Asia) の概要

1 FNCAとは

我が国の内閣府と文部科学省が中心となって進めているアジア諸国との原子力技術の平和利用における国際協力の枠組み。

2 参加国

オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム（12か国）

3 枠組み

(1) FNCA大臣級会合

原子力を所管する大臣級代表による会合と上級行政官による会合で構成。協力方策や原子力政策について討議。

(2) コーディネーター会合

各国1名のコーディネーターにより、協力プロジェクトの成果と評価、推進方針、新提案ならびにFNCAの運営全般に関わることを審議。

(3) スタディ・パネル

原子力発電および非発電分野での各国の政策課題や、原子力発電導入の技術課題について討議。

(4) 個別プロジェクトについての協力活動

放射線利用および原子力基盤に係る4分野10プロジェクトについて、FNCA参加国が持ち回りでワークショップを開催し、活動の成果と計画を討議。

< FNCA 10プロジェクト >

○研究炉利用開発分野	○原子力基盤強化分野
・研究炉ネットワーク	・人材養成
・中性子放射化分析	・核セキュリティ・保障措置
○原子力安全強化分野	○放射線利用開発分野
・原子力安全マネジメントシステム	・放射線治療
・放射線安全・廃棄物管理	・放射線育種 (※)
	・バイオ肥料
	・電子加速器利用

※放射線育種プロジェクトでは、アジア地域でニーズの高い作物を対象とし、放射線による突然変異育種技術を利用することで、病気、害虫、干ばつなどに強い品種や、より収穫量が多く高品質な品種を開発することを目指す。

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の構成

